２０２３ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東　山梨県大会
実　施　要　項

１　名称
２０２３ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東　山梨県大会

２　主催
一般社団法人山梨県サッカー協会

３　主管
一般社団法人山梨県サッカー協会４種委員会

４　日程・会場

開 催 日 ：	２０２２年１０月２２日（土）、３０日（日）、１２月３日（土）	
会　場　：	予選１次リーグ	県内会場
	予選２次リーグ	日世南アルプススタジアム（南アルプス市） 長坂総合スポーツ公園（北杜市）
	準々決勝、準決勝、決勝	小瀬補助競技場（甲府市）
組 合 せ ：	２０２２年９月１０日（金）に４種委員会評議員会において自動抽選を行い、発表する。	
開 会 式 ：	実施しない。	
閉 会 式 ：	２０２２年１２月３日（土）小瀬補助競技場Ｇ（甲府市）	

※　予選リーグ運営責任チーム及び会場は、グループ内で決定するものとする。
※　予選リーグ開催に係る会場使用料は、グループ内のチームの負担とする。
※　準々決勝、準決勝及び決勝の運営は、４種委員会役員及び事業運営部とする。

５　参加資格
（１）　「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会（以下「ＪＦＡ」）第４種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。
（２）　上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
（３）　「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属し、選手登録された者であること。
（４）　小学校５年生以下であること。
（５）　選手は大会初日から最終日までの大会期間中に移籍し、２チームに出場することは出来ない。
（６）　会場確保、運営等に協力できるチームであること。
（７）　４種委員会が定める「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を遵守し、大会運営に協力できるチームであること。

（8）　女子選手については、（クラブ申請を承認された）同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。

（9）　引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。なお、ベンチ入りする引率指導者のうち、１名以上はＪＦＡ公認指導者ライセンス（D 級コーチライセンス以上）を有すること。

（１０）　「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。

6　複数エントリー

不可とする。

7　参加チームとその数

参加チームは、以下により申込及びエントリーした２８チームとする。

（1）　令和４年８月８日（月）までに各地区理事に参加申込を行ったチーム（各地区理事は、参加チーム名を事業運営部長及び峡北地区理事に報告を行うものとする。）

（2）　ＫＩＣＫＯＦＦから「大会エントリー」申請を行ったチーム

8　大会形式

（1）　予選１次リーグ　：８グループに分けリーグ戦を行う。
各グループの１位・２位チームが予選２次リーグに進出する。

（2）　予選２次リーグ　：４グループに分けリーグ戦を行う。
各グループの１位・２位が決勝トーナメントに進出する。
なお、予選１次リーグの同組のチームは、予選２次リーグの同グループでは対戦しない。

（3）　予選１次リーグ及び予選２次リーグにおける順位の決定方法は、勝利３点、引分１点、敗戦０点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。

①　全試合の得失点差（総得点－総失点）
②　全試合の総得点
③　当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
④　①～③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。

（4）　決勝トーナメント：予選２次リーグ１位チーム及び２位チーム計８チームによるノックアウト方式にて優勝以下第３位までを決定する。（第３位決定戦は行わない。）

9　競技規則

ＪＦＡ「サッカー競技規則（２０２１/２２）」および「８人制サッカー競技規則」による。

１０　競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

（1）　競技のフィールド

フィールドの表面は、天然芝、人工芝またはクレーとする。

サイズは原則以下のとおりとする。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）６８m×幅（ゴールライン）５０m

ペナルティーエリア：１２m

ペナルティーマーク：８m

ペナルティーアークの半径：７m

ゴールエリア：４m

センターサークルの半径：７m

（2）　ボール

試合球は４号検定皮製ボールとし、各チーム持ち寄りとする。ただし、準々決勝、準決勝及び決勝については、本部にて用意する。

（3）　競技者の数

競技者の数　　：８名（内１名はゴールキーパー）

大会登録選手数：２０名以下

試合登録選手数：１６名（ベンチ内の選手はビブスを着用すること。）

選手交代等　　：第１ピリオドと第２ピリオドで選手を総入れ替えとする。なお、第３ピリオドについては、自由な交代とする。ただし、同一選手の出場は最大で２ピリオドまでとし、３ピリオド全てに出場することはできない。決勝戦の延長戦については、前後半で同一選手が出場することができるものとし、自由な交代を適用する。

退場、怪我等があった場合においても、３ピリオド全てには出場することはできない。

※試合中に選手が退場または負傷した場合は、試合登録選手の１６名のうちから交代を行うものとする。

ベンチ入り選手の人数は２０名以内とし、８名の交代要員と区分できるようにすること。ただし、新型コロナ感染症対策のため、ベンチ入り選手を試合登録選手のみに制限する場合がある。この場合は、会場責任者の指示に従うこととする。

（4）　ベンチ入りする引率指導者の数：２名以上３名以下とし、必ず１名はＪＦＡ公認指導者ライセンス（Ｄ級コーチライセンス以上）を有すること。

（5）　審判員

１人の主審と補助審判が指名される。

（6）　テクニカルエリア

設置する。

（7）　戦術的指示

（4）記載のベンチ入りする引率指導者は、テクニカルエリア内からその都度１名の指導者に限り、立って戦術的指示を伝える事ができる。

（8）　競技者の用具・ユニフォーム

①　ＪＦＡのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

② 本競技会に登録した正・副２組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

③ 正・副の２色については明確に異なる色とする。

④ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっていても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。

⑤ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

⑥ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

⑦ 前記の場合、審判員は、両チームの各２組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑧ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

⑨ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑩ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑪ Ｊクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下「Ｊリーグ」）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑯に準じる。

⑫ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームをＫＩＣＫＯＦＦ申請の際に登録し、各試合に必ず携行すること（FP・GK 用共）。

⑬ シャツの背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。シャツの前面及びショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。

⑭ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

⑮ ユニフォームの色、選手番号のＫＩＣＫＯＦＦ申請期日以後の変更は認めない。

⑯ ユニフォームへの広告表示については、ＪＦＡ第４種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、大会初日までにＪＦＡに承認された場合にのみ認められる。

※ ＪＦＡユニフォーム規程第１０条において適用除外を受けたＪリーグに所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

⑰ シューズは固定式ポイントとすること。

⑱ 出場選手は、すね当てを着用すること。

⑲ ゴールキーパーの負傷により、フィールドプレーヤーが交替した場合のユニフォームはビブス着用を可とする。

（９） 試合時間等

① 試合時間は３６分（第１、第２、第３ピリオド各１２分）とする。

第１ピリオドと第２ピリオド間は、選手総入れ替えに要する時間のみとする。

第２ピリオドと第３ピリオドのインターバル：原則５分間

② 第３ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したところでサイドをチェンジする。なお、タイミングは審判に委ねることとする。

③ 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

第１次リーグ及び第２次リーグ：引き分けとする。

準々決勝及び準決勝：ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

決勝：６分間（前後半各３分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル：原則５分間

ペナルティキック方式に入る前のインターバル：原則１分間

④ アディショナルタイムの表示：行わない。

（１０） 交代の手続き（第３ピリオド、延長または選手が負傷した場合に限る。）

① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。ただし、ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

（１１） 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大２名ピッチへの入場を許可される。

（１２） ベンチサイド

組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側とする。

（１３） チーム役員への対応

責任ある態度で行動しないチーム役員がいた場合、主審は当該役員をフィールド及びその周辺から立ち退かすことができる。

（１４） メンバー表の提出

全試合、試合開始３０分前までにメンバー表を提出すること。

※ 選手の背番号については、大会期間中変更できないものとする。

（１５） 選手証、指導者資格証の提示

選手証及び指導者資格証の提示は、次の通りとする。

会場運営責任チームがメンバー表と選手証（「KICKOFF アプリケーション表示の電子登録証」（スマホ・タブレット）も可）またはエントリー票（顔写真付き）によりメンバー表記載の選手を照合する。(第１試合目のみ・照合後直ちに返却)

選手証に不備（不携帯、写真不貼付等）があった場合は、当該選手またはチームは試合に出場できない。

なお、指導者資格証の確認については、上記の選手照合時に併せて行う。

（１６）　審判

審判は主審１名と予備審判１名の２名とする。予備審判は記録･交代管理を担当する。

審判員は、審判着を上下着用し、ワッペンをつける。審判要員は、必ず運営責任チームに審判証（写真貼付）の提示をすること。(「KICKOFF アプリケーション表示の電子登録証」（スマホ・タブレット）も可)

予選リーグ及び準々決勝は、別表割当てにより行うものとする。

（１７）　不戦敗

大会期間中、上記５「参加資格」を満たす選手を１６名以上確保すること。出場可能な選手が１５人以下になったときは以下の通りとする。

A　予選１次リーグ及び予選２次リーグについては、得失点により順位決定に影響を与える場合があるため、当該チームとの全対戦結果を０－４の不戦敗扱いとする。

B　準々決勝、準決勝及び決勝においては、当該試合は不戦敗（０－４）扱いとする。

（１８）　マッチ・ウェルフェアオフィサー

暴力・暴言・威嚇や差別を排除し、子どもたちの安心・安全な環境づくりの一環としてマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する場合がある。

また、気づきがあった場合は当該チーム、指導者に対して話を行う場合がある。

（１９）　荒天時の対応

大会全日程を通しては雨天実施とする。ただし、著しく荒天の場合またはコロナウイルス感染症に伴うチーム活動制限が生じた場合は、ＹＦＡ４種委員会理事会にて協議の上、代替日を設定する場合がある。

（２０）　運営責任チーム

予選１次リーグ及び予選２次リーグの会場設営、試合等の運営は、運営責任チーム（会場提供チーム）が中心となりグループ内のチームで行うこと。(予選１次リーグの会場は、グループ内で協議の上、決定を行う。なお、会場利用料は、グループ内で負担するものとする。)

（２１）　結果の報告

運営責任チーム（会場提供チーム）は、予選１次リーグ及び予選２次リーグの試合結果（警告・退場があった場合は、審判報告書を含む。）に誤りがないことを確認し、試合終了後、直ちに広報部へ報告すること。

１１　懲罰

（1）　本大会は、ＪＦＡ「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

（2）　大会規律委員会の委員長はＹＦＡ４種委員長とし、委員については委員長が決定する。

（3）　本大会期間中に警告を２回受けた選手等は、本大会の次の１試合に出場できない。累積の警告は翌開催日に持ち越すものとする。

（4）　本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の１試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

（5）　ＪＦＡ諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

１２　大会参加申込

（1）　登録はチームあたり選手最大２０名、役員及び帯同審判員は上限なしとする。

（2）　「参加チーム」は、ＫＩＣＫＯＦＦにて必要事項を入力の上、参加申込手続きを行うこととする。なお、役員のうち１名を監督とすること。

（3）　登録の申込期間：抽選後にシステムの準備が整い次第、別途通知する。

（4）　大会名は「２０２３　ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東　山梨県予選」とする。

（5）　申請後は、地区広報部（一次承認者）へ連絡し、最終承認後に「大会申込書」(「エントリー票」)のプリントアウトが可能となる。

（6）　申請承認後、チーム役員、選手等の追加または変更を希望する場合は、申込期間中に限り「差戻し」処理で対応する。その場合は各地区承認者への連絡が必要となる。

（7）　大会期間中は原則として登録内容の変更を認めない。

１３　参加料

無料

１４　選手証

各チームの登録選手は、顔が認識できる写真を貼付した選手証を持参しなければならない。

※　選手証とは、ＫＩＣＫＯＦＦから出力した選手証、登録選手一覧表または最終承認後のエントリー表を印刷したものを示す。

１５　表彰

（1）　優勝チームには表彰状及びトロフィーを授与する。

（2）　準優勝チームには表彰状及びトロフィーを授与する。

（3）　第３位チームには表彰状とトロフィーを授与する。

（4）　優勝チーム及び準優勝チームの２チームは、山梨県代表として『２０２３ＪＡ全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東』（栃木県開催）への出場権を得る。

１６　傷害保険

チームの責任において傷害保険に加入すること。

１７　その他

（1）　大会期間中、疾病・傷害が発生した場合、応急処置のみを行うものとする。

（2）　大会要項に規定されていない事項については、ＹＦＡ４種委員会理事会において協議のうえ、決定する。

１８　問い合わせ先

実行委員長	山梨県サッカー協会４種委員会委員長　鈴木和幸　090-8110-2710		
大会運営責任者	峡北地区理事	福田　和久	090-4709-8503
	峡北地区理事	窪田　圭司	090-2455-0172
	事業運営部長	三科　健二郎	090-2255-1595
甲府会場責任者	甲府地区理事	野村　善仁	090-1033-2757
峡中会場責任者	峡中地区理事	望月　一徳	090-4840-1205
峡東会場責任者	峡東地区理事	廣瀬　幸司	090-1208-7119
郡東会場責任者	郡東地区理事	野口　徹	090-2673-4838
郡南会場責任者	郡南地区理事	近藤　暁	090-3212-9757
峡北会場責任者	峡北地区理事	福田　和久	090-4709-8503
会場運営責任者	各グループ会場提供チームの責任者（予選１次リーグ及び２次リーグ）		

以上